

No.2049-D ガーレーステフネステスター(自動式)

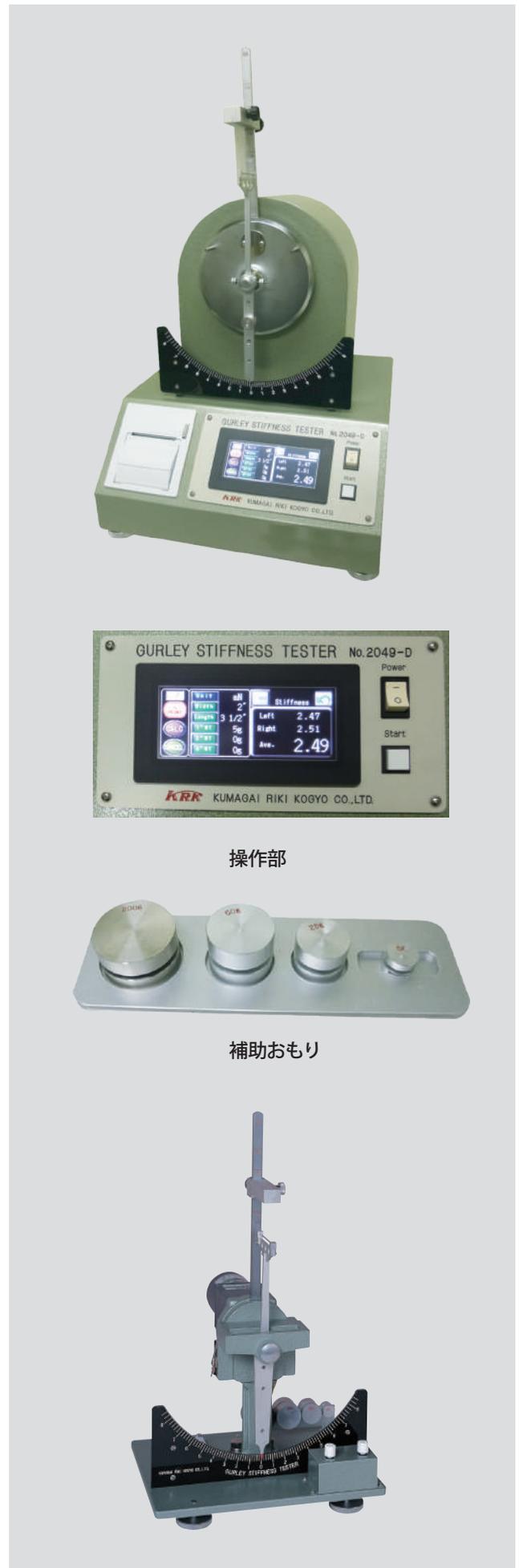
本機は紙、フィルム、不織布等のこわさ或は柔軟度を測定するもので、試験片の大きさ、及びおもりの組合せにより広範囲のこわさを測定することが出来ます。その構造は移動クランプに試験片の一端を固定し、他端を測定用振り子の上端に6.4mmの深さで接触させます。次に試験片を取付けた可動アームをゆっくりと動かし、荷重の増加と共に試験片が撓むことにより振り子が傾き、最終的に試験片が振り子より離れます。その際の振り子の最大回転角をセンサーで捉え、“こわさ”を算出して表示します。従来の電動式に比べ、試験片サイズや取り付けたおもりの位置と重さ等による複雑な計算作業から解放され、こわさデータの正確さ、迅速化を計り、試験研究部門の生産性向上に繋がります。

測定範囲	1.39 ~ 450000 (mg)
試料長	1", 1 1/2", 2 1/2", 3 1/2", 4 1/2"の設定
試料巾	1/2", 1", 2"の設定
振り子容量	試料の曲げ強さに応じて振り子にセットする重錘とセット位置(振り子中心より 1", 2", 4")を設定
試料の方向	曲げの方向をタテ、ヨコ、無方向の三つに設定(記録のため)
重錘の種類	5, 25, 50, 200 (g)
荷重検出	振り子の傾斜角を検出、その角度の sin 値を測定条件で定まる定数に乗じて曲げ荷重を算出。
"0"点自動補正	機体の姿勢を正し、振り子の指針を目盛"0"に合わせて"0"補正スイッチを押す。
曲げ速度	可動アームの回転速度 2rpm
データ表示	左、右曲げ及び平均を表示。
参考規格	JIS L-1085, 1096 TAPPI T-543pm-00
電源	100/110V 50/60Hz 1A
外形寸法	360×370×660mm
重量	22kg

No.2049-M ガーレーステフネステスター(電動式)

本機は紙、フィルム、織布等の柔軟度を測定するものです。その構造は試料の一端を可動アームのクランプに取り付け、他端を測定振り子の上端に接触させます。この可動アームを左右に一定速度で回転させることにより、試験片が撓みながら、振り子を傾斜させます。試験片は荷重の増加とともに自ら撓み、遂にその接触点より外れます。このときの最大撓み量を振り子の傾斜角として下部のスケールにてその数値を読み取ります。試料のこわさの強さによって、クランプの位置及び重錘の交換及び取付位置を変えることにより広範囲にわたり試験することが出来ます。

重錘	5, 25, 50, 200 (g)
重錘取付	1", 2", 4" (振り子の軸心から)
試料長	1", 1 1/2", 2 1/2", 3 1/2", 4 1/2"
試料巾	1/2", 1", 2"
回転速度	2rpm
参考規格	JIS L-1085, 1096, TAPPI T-543pm-00
電源	100/110V 50/60Hz 0.5A
外形寸法	270×240×460mm
重量	7.2kg



操作部

補助おもり